

令和2年度 県立広島大学 履修証明プログラム（公開講座）

「宮島学で学び直す世界遺産厳島神社と宮島」

※新型コロナウイルスの感染拡大により、本講座はやむをえず中止することとなりました。中止後の対応については、受講予定者に書面で連絡します。

履修証明プログラムは、社会人等の学生以外を対象とし、体系的な知識・技術等の修得を目指した一定のまとまりのある教育プログラムで、履修者には学校教育法第105条に基づく履修証明書を交付します。

この履修証明プログラムは、二つの公開講座（有料・総時間64時間）で構成します。受講を希望される方は、次の「申込方法・申込先」のとおり「履修証明プログラム履修許可願」を提出してください。申請に基づいて受講が認められた方には、履修許可通知をお送りします。すべての講座に出席し、プログラムの修了認定を受けた方に「履修証明書」を交付します。

■対象：文化施設（博物館、図書館、資料館等）に勤務する方、文化行政に従事している方、教育関係の分野に従事している方、また観光業に従事している方

■募集人数：10名

■受講料：22,400円（テキスト代、フィールドワークの交通費・参加費・参拝費等の諸経費は別途自己負担）

※受講料の振込に関する案内は、別途受講者に送付します。

※講座1と講座2の出席時間が60時間に満たない場合、証明書は発行できません。

また、受講料も返還できませんので、ご了解ください。

■申込方法・申込先：

①履修証明プログラム履修許可願、②履歴書、③最終出身学校の卒業証明書または卒業見込み証明書、④写真2枚（縦30mm×横24mm、上半身脱帽正面向きで3ヶ月以内に撮影したもの）、⑤返信用封筒（定型長3の封筒に84円切手を貼付し、宛名を明記したもの）を、次のところに郵送してください。（※①と②は本学のホームページからダウンロードしてください。）

〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1-71

県立広島大学 地域基盤研究機構「履修証明プログラム」係

■申請期間：令和2年3月13日（金）～3月27日（金）まで（消印有効）

■講座内容に関する問合せ先：県立広島大学 地域基盤研究機構 宮島学センター

TEL082-251-9550（直通）

講座 1

宮島学特論

この講座では、宮島の歴史や文化について、厳島神社の神事「管絃祭」に参加するなど現地フィールドワークを交えながら実践的に学ぶことで、世界文化遺産厳島神社と宮島について理解を深めます。

■会 場：県立広島大学 広島キャンパス（広島市南区宇品東一丁目 1-71）、廿日市市宮島町

回	日 時	テーマ		講 師
1	5月15日(金) 10:40~16:10	文化財の保存と 継承	文化遺産の継承とその意義	人間文化学部 教授 鈴木 康之
			平清盛の時代の社会と経済	
			御島廻の今昔	宮島学センター特命講師 大知 徳子
2	5月23日(土) 10:40~16:10	平安時代後期の 宮島	宮島にもたらされた陶磁器とその背景	鈴木 康之
			中世瀬戸内海の水運と物流	
			儀礼が果たす文化的役割	
3	5月31日(日) 9:00~15:00	フィールドワーク「厳島神社・経塚」		講座担当教員
4	6月20日(土) 10:40~16:10	戦国～江戸時代 の宮島	棚守房頭と管絃祭	大知 徳子
			厳島神社と石見銀山	宮島学センター特任教授 秋山 伸隆
			地域資料からみる宮島	人間文化学部 教授 西本 寮子
5	7月18日(土) 10:40~16:10	近世・近代の宮島	厳島八景の成立と京の人々	人間文化学部 教授 柳川 順子
			宮島における神仏分離	秋山 伸隆
			宮島における戦争と平和	秋山 伸隆
6	8月6日(木) 15:00~22:00	フィールドワーク「管絃祭」		講座担当教員
7	8月29日(土) 13:00~16:10	受講者によるプレゼン発表		講座担当教員

講座 2

くずし字で学ぶ宮島—近世資料を読み解く—

宮島に関わる近世資料を取り上げて原典で読み解きながら、世界文化遺産厳島神社と宮島について理解を深めます。くずし字の基本を理解し、活字資料に頼らず近世資料を読み解く技術、また、江戸時代に発行された一枚もの（摺り物）や絵入版本などいくつかの資料を組み合わせ合わせて活用する力を身につけることを目的とします。

■会 場： 県立広島大学 広島キャンパス（広島市南区宇品東一丁目 1-71）

回	日 時	テーマ・内容	講 師
1	9月5日(土) 13:00~17:20	イントロダクション・古川古松軒『西遊雑記』を読む(1) くずし字を読むための基礎知識、基礎資料紹介に加えて、江戸時代の地理学者である古川古松軒の紀行文『西遊雑記』(1783年)から、厳島神社と宮島に関する記述を読み解く。	宮島学センター特任教授 秋山 伸隆
2	9月26日(土) 13:00~17:20	古川古松軒『西遊雑記』を読む(2) 第1回に続いて、古川古松軒の紀行文『西遊雑記』(1783年)から、厳島神社と宮島に関する記述を読み解く。	秋山 伸隆
3	10月10日(土) 13:00~17:20	「厳島御島廻之図記」と読む(1) 「厳島御島廻之図記」から「御烏喰式」の様子を描いた図と説明文などを読み、厳島神社の重要な神事である「御島廻」について理解を深める。	秋山 伸隆
4	10月31日(土) 13:00~17:20	「厳島御島廻之図記」と読む(2) 第3回に続いて、「厳島御島廻之図記」から「御烏喰式」の様子を描いた図と説明文などを読み、厳島神社の重要な神事である「御島廻」について理解を深める。	秋山 伸隆
5	11月14日(土) 13:00~17:20	『厳島名所図会』を読む(1) 『厳島名所図会』の複数の序文を読み、『図会』編纂の意図を確認するとともに、広島地方の出版事情や文化状況について理解を深める。	人間文化学部 教授 西本 寮子
6	12月5日(土) 13:00~17:20	『厳島名所図会』を読む(2) 『厳島名所図会』から大元や紅葉谷、石風呂などの名所を描く場面を現在の状況と比べながら読み解くとともに、関連する文芸資料に触れ、くずし字に馴れる。	西本 寮子
7	12月19日(土) 13:00~17:20	『厳島名所図会』を読む(3) 第6回に続き、『厳島名所図会』に描かれた名所を取り上げて読み解くとともに、享和元(1801)年前後に成立した地域の資料に触れ、大鳥居の再建や厳島に寄せる思いについて理解を深める。	西本 寮子
8	令和3年 1月23日(土) 13:00~17:20	旅の記を読む 江戸時代後期に厳島を訪れた遠来の客の記録を読み解きながら、観光ルートと旅の実態の一端に触れる。	西本 寮子